



ロシアNIS経済速報

社団法人 ロシアNIS貿易会

2010年（平成22年）10月5日号 No. 1508

目次

■ ゼレノグラード経済特区の挑戦	服部 倫卓 1
—エレクトロニクスと医薬品産業—	
■ 統計速報	12
2010年1～8月の日本の対ロシア・NIS諸国輸出入通関実績／12	
2010年1～8月の日ロ貿易／13	
2010年1～6月のロシア・NIS諸国の経済／15	
■ キーパーソン	15
ルシコフ・モスクワ市長解任／15	
■ トピックス	16
ロシア版シリコンバレー「スコルコヴォ」立法化される／16	
東京製綱がロシア向け初受注／16	
SBIホールディング・モスクワ事務所開設／16	
秋田でロシア荷主会設立／16	
第2回日本カザフ官民合同協議会開催／16	
駐日アルメニア大使館開設／17	
■ エトセトラ	17
「ロシア・ウクライナ投資セミナー：実務法の観点から」のご案内／17	
鳥取県主催「ロシアビジネスセミナー」のご案内／17	

シリーズ・ロシアの産業クラスター②

ゼレノグラード経済特区の挑戦 —エレクトロニクスと医薬品産業—

ロシアNIS経済研究所

服部 倫卓

はじめに

当会では昨年度、ロシアの経済特区に関する調査事業を実施し、その成果をまとめた報告書を作成したが、その後も特区に関するフォローを継続している。筆者は本年6月、ゼレノグラード経済特区に出向き、視察および聞き取り調査を行う機会を得た。ゼレノグラードはロシアに4箇所設けられている「技術導入特区」の1つであり、マイクロ・ナノエレクトロニクスとバイオ・医薬品産業の産業クラスターを形成することをめざしている。本稿では、6月の現地調査の成果、特区のプレゼンテーション資料、各種の報道等にもとづき、ゼレノグラード経済特区の現状・展望につき論じることとする。